

# 自己評価結果公表シート（令和7年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育環境の充実と見直し
- ・業務の効率化
- ・保護者との関わり

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育環境の充実と見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・各クラスごとに毎週話し合いの日程を決めて、子どもの姿を振り返る事で、個々の子どもの成長にあった環境を作る事ができた。</li><li>・法人内で定期的に乳児会議を行ったり、他施設に見学に行きいろいろな環境を取り入れたりしたことで、保育環境の幅を広げることができた。</li><li>・外遊びに関しては、日々のミーティングでの反省を元に係が中心となり、環境を見直し子ども達に危険のないような環境作りや遊びを提供できるようにしてきた。遊びに関しては、子ども達が飽きないように週替わりで遊びの組み合わせを変えたり、違った遊びを取り入れたりするようにしている。</li><li>・豊中市教育・保育ガイドブックをもう少し上手く取り入れていきたい。</li></ul>
○業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>・働き方を見直したことで、保育者の休憩をしっかりと確保することができた。また、フリーの保育者を上手く組み込むことでクラスや係の業務の時間を取ることができ、行事の見直し、係の仕事等を余裕を持って計画や準備することができた。</li><li>・ICTを導入することにより、登降園管理等の業務の負担軽減に繋がる結果となった。各クラスにiPadを導入した結果、日々の業務がスムーズになり、保育後の担任業務の時間の負担が減った。</li><li>・アプリを使い園全体の連絡や情報を共有することで、伝達の漏れが減ったが、他施設からの情報共有に関して、見落としがちな部分をどのように共有するか再度考える。</li></ul>
○保護者との関わり	<ul style="list-style-type: none"><li>・園で取り入れているチーム保育を活かして担任だけでなく、園全体で日々いろいろな保育者が子ども達と関わることで、園での子ども達の様子を伝える。</li><li>・また、家庭での様子を聞く等しながら保護者の方にも、園の環境に慣れていただき、保護者自身から話せる場所、相談できる場所であるということを知ってもらおう。</li><li>・保護者の方の職場や家庭とはまた違った居心地の良い場所が提供できるようにと思うので、引き続きこの環境を保っていきたい。</li></ul>

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成</li><li>・子育て支援の充実</li><li>・主体性を高める実践</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・積極的にいろいろな研修に自ら参加できるよう、日々の保育を見て個々に声を掛けていく。</li><li>・ミドルの先生達が増えてきているので、次のステップに繋がるよう若手の育成に関わる場面を経験できるような環境を作る。</li><li>・学期ごとに保育者一人ひとりが自身の保育を振り返り、課題や強みを明確にした上で目標を設定し、具体的なスモールステップに繋げていく。</li><li>・地域の子育て支援業務に積極的に参加し、園でできることは取り組んで活かすことができるようにする。</li><li>・地域の方々に遊び場の提供ができる日を増やしていけるよう考える。</li><li>・子どもの主体性を大切にしたい保育を行っているが、日々のかかわりや環境設定の中に保育者主導のかかわりが、習慣化していないか振り返っていきたい。具体的には、活動の進め方や声掛け、遊びの選択場面において、子ども自身が考えたり選んだりする機会が十分に保障されているか見直し、子どもが自らやってみたいと思える環境やかかわりへと改善していく。</li></ul>